

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成28年2月4日(2016.2.4)

【公表番号】特表2015-507678(P2015-507678A)

【公表日】平成27年3月12日(2015.3.12)

【年通号数】公開・登録公報2015-016

【出願番号】特願2014-550328(P2014-550328)

【国際特許分類】

C 08 L	83/06	(2006.01)
C 08 K	5/5399	(2006.01)
C 08 K	5/29	(2006.01)
C 09 J	183/06	(2006.01)
C 09 J	7/02	(2006.01)
C 09 J	11/06	(2006.01)

【F I】

C 08 L	83/06	
C 08 K	5/5399	
C 08 K	5/29	
C 09 J	183/06	
C 09 J	7/02	Z
C 09 J	11/06	

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月11日(2015.12.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも2個のヒドロキシシリル部分を含む少なくとも1種のポリジオルガノシロキサンと、

少なくとも1種のヒドロキシル官能性ポリオルガノシロキサン樹脂と、

放射線に曝露するとアミジン、グアニジン、ホスファゼン、プロアザホスファトラン及びこれらの組み合わせから選択される少なくとも1種の塩基を生じる、光により活性化可能な少なくとも1種の組成物と、を含む、硬化性組成物。

【請求項2】

少なくとも2個の前記ヒドロキシシリル部分を含む少なくとも1種の前記ポリジオルガノシロキサンが以下の一般式を有する、請求項1に記載の組成物。

$$(O H)_p - S i (R')_3 - p - [G - S i (R')_2]_t - O - [(R')_2 S i O]_q [S i (R')_2 - G]_t - S i (R')_3 - p - (O H)_p \quad (I)$$

[式中、各pは独立して1、2又は3の整数であり、各Gは独立して二価結合基であり、各R'は独立して、アルキル、アルケニル、アリール、シクロアルキル、ヘテロアルキル、ヘテロアリール、ヘテロシクロアルキル、及びこれらの組み合わせから選択され、qは0～150,000の整数であり、各tは独立して0又は1の整数である。]

【請求項3】

前記光により活性化可能な組成物が、少なくとも1つの窒素原子上で少なくとも1つのアラルキルラジカルにより置換される少なくとも1つの1,3-ジアミン化合物を含み、

少なくとも 1 つの前記 1, 3 - ジアミン化合物は、以下の式により表されるものから選択される、請求項 1 に記載の組成物。



[式中、 R_1 は、芳香族ラジカル、ヘテロ芳香族ラジカル、及びこれらの組み合わせから選択され、これらは 200 nm ~ 650 nm の範囲の波長の光を吸収し、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{18}$ アルキル、 $\text{C}_2 \sim \text{C}_{18}$ アルケニル、 $\text{C}_2 \sim \text{C}_{18}$ アルキニル、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{18}$ ハロアルキル、-NO₂、-NR₁₀R₁₁、-CN、-OR₁₂、-SR₁₂、-C(O)R₁₃、-C(O)OR₁₄、ハロゲン、式 N(R₇)(R₆) - CH(R₅) - N(R₄) - C(R₂)(R₃) - の基(式中、 $\text{R}_2 \sim \text{R}_7$ は式 VI について定義されている通りである)、及びこれらの組み合わせから選択される少なくとも 1 つの一価の基により 1 回以上置換されているか又は未置換であり、前記吸収により、アミジン又はグアニジンを生成させる光脱離反応を引き起こし、

R_2 及び R_3 はそれぞれ独立して、水素、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{18}$ アルキル、フェニル、置換フェニル(前記置換フェニルは、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{18}$ アルキル、-CN、-OR₁₂、-SR₁₂、ハロゲン、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{18}$ ハロアルキル、及びこれらの組み合わせから選択される少なくとも 1 つの一価の基により 1 回以上置換されている)、及びこれらの組み合わせから選択され、

R_5 は、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{18}$ アルキル、-NR₈R₉、及びこれらの組み合わせから選択され、

R_4 、 R_6 、 R_7 、 R_8 、 R_9 、 R_{10} 及び R_{11} はそれぞれ独立して、水素、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{18}$ アルキル、及びこれらの組み合わせから選択されるか、あるいは、 R_4 と R_6 は一緒に $\text{C}_2 \sim \text{C}_{12}$ アルキレン架橋を形成し、これは未置換であるか、又は、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$ アルキルラジカル及びこれらの組み合わせから選択される 1 つ以上の一価の基により置換され、あるいは、 R_5 と R_7 は、 R_4 と R_6 から独立して、一緒に $\text{C}_2 \sim \text{C}_{12}$ アルキレン架橋を形成し、これは未置換であるか、又は、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$ アルキルラジカル及びこれらの組み合わせから選択される 1 つ以上の一価の基により置換されているか、あるいは、 R_5 が -NR₈R₉ である場合には、 R_7 と R_9 が一緒に $\text{C}_2 \sim \text{C}_{12}$ アルキレン架橋を形成し、これは未置換であるか、又は、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$ アルキルラジカル及びこれらの組み合わせから選択される 1 つ以上の一価の基により置換され、

R_{12} 及び R_{13} はそれぞれ独立して、水素、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{19}$ アルキル、及びこれらの組み合わせから選択され、

R_{14} は、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{19}$ アルキル、及びこれらの組み合わせから選択される。】

【請求項 4】

硬化した硬化性組成物を含む感圧接着剤であって、

前記硬化性組成物が、

少なくとも 2 個のヒドロキシシリル部分を含む少なくとも 1 種のポリジオルガノシロキサンと、

少なくとも 1 種のヒドロキシル官能性ポリオルガノシロキサン樹脂と、

放射線に曝露するとアミジン、グアニジン、ホスファゼン、プロアザホスファトラン及びこれらの組み合わせから選択される少なくとも 1 種の塩基を生じる、光により活性化可能な少なくとも 1 種の組成物と、を含む、感圧接着剤。

【請求項 5】

少なくとも第一主表面及び第二主表面を備える基材と、前記基材の少なくとも 1 つの主表面の少なくとも一部分の上にコーティングされた感圧接着剤と、を含む物品であって、

前記感圧接着剤は硬化した硬化性組成物を含み、

前記硬化性組成物は、

少なくとも 2 個のヒドロキシシリル部分を含む少なくとも 1 種のポリジオルガノシロキサンと、

少なくとも 1 種のヒドロキシル官能性ポリオルガノシロキサン樹脂と、

放射線に曝露するとアミジン、グアニジン、ホスファゼン、プロアザホスファトラン及びこれらの組み合わせから選択される少なくとも1種の塩基を生じる、光により活性化可能な少なくとも1種の組成物と、を含む、物品。